

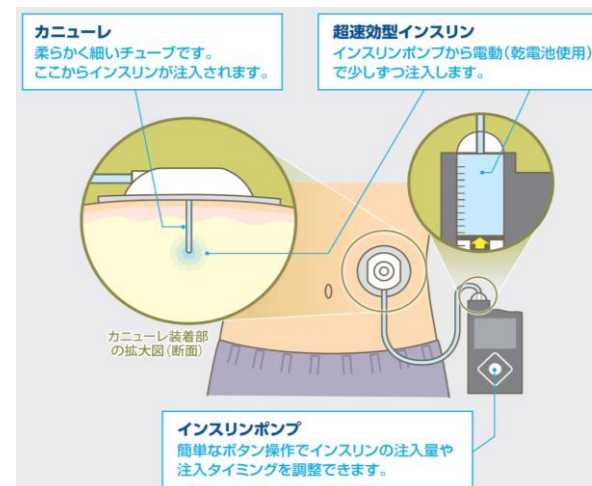
インスリンポンプ療法とは、

インスリンポンプという機械を使って、インスリンを体内に投与する治療法。

2～3日に1回針を刺し、柔らかい細いチューブを留置すれば簡単なボタン操作でインスリンの注入が出来ます。

基礎インスリン : 少量ずつ24時間持続注入

追加インスリン : 食事に合わせて必要なインスリンをポンプのボタンで注入

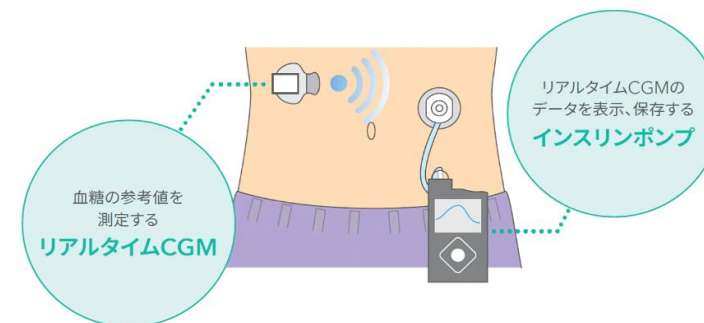


SAP療法とは、

SAP専用のリアルタイムCGMを併用したインスリンポンプ療法。

CGMで測定されたグルコース値がリアルタイムでインスリンポンプの画面に表示。

グルコース値に基づき基礎インスリンを自動調整し、必要に応じて高血糖を自動補正したり、血糖が急激に下がった際には自動的に注入停止などを行い適正範囲内に収まるよう調整する機能あり。



目標血糖値	100mg/dlが標準(100.110.120mg/dlより選択可) 150mg/dl (一時目標)
ボーラス	スマートガードボーラス(※) 糖質比、残存インスリンを主治医に相談し入力要 センサーグルコース値を補正インスリンの計算に利用

※ スマートガードとは、

センサーグルコース値に基づき、5分毎に基礎インスリンを自動調整し、必要に応じて高グルコースを自動補正



参考資料引用 :
日本メドトロニック

FreeStyle リブレ2

➔ 間質液中のグルコース（ブドウ糖）の濃度を測定

【特徴】

☆ FreeStleリブレのセンサーは **上腕** に装着し、最長**14日間** 継続測定が可能
センサー(※1)が **1分毎にグルコース値を測定し、自動的にスマートフォンに送信**

※ 対象外スマホやスマホ使用が難しい場合にはリーダー(※2) を使用

☆ 低グルコース値/高グルコース値アラート機能あり

☆ スマートフォンでのデータは当院と連携設定をすることで、遠隔でもリブレデータを確認することが可能



※1 FreeStle
リブレセンサー



※2 FreeStle
リブレリーダー



参考資料引用：アボットジャパン

Dexcom G7

➔ 間質液中のグルコース（ブドウ糖）の濃度を測定

【特徴】

☆ Dexcom G7センサーは **腹部・上腕** に装着し、最長**10日間** 継続測定が可能
センサーが **5分毎にグルコース値を測定し、自動的にスマートフォンまたは専用モニターに表示**

☆ グルコース値の変動がグラフで表示される

☆ 20分以内にグルコース値が55mg/dl以下になる可能性を知らせる緊急低値リスクアラートを搭載

☆ 低グルコース値/高グルコース値アラート機能あり



参考資料引用：Dexcom